

株式会社フレイバー



利用者が集まってストレッチ



見守りICTシステム



タブレットで状況確認

ICTを最大限に活用し
働きやすさや暮らしやすさ
を追求した、
安心有料老人ホームの
事業展開

DATA：ふれーばー



代表取締役：布目 裕貴

設立年月日：平成24年2月
住 所：〒470-2216 知多郡阿久比町大字植大字前崎38
電 話：0569-47-5855
F A X：0569-47-5791
U R L：http://flavor-hotaru.jp/
E - M a i l：info@flavor-hotaru.jp
資 本 金：800万円
業 種：通所・短期入所介護事業
従 業 員 数：35人

顧客の安心を目指して

当社は愛知県知多郡阿久比町において、「小規模デイサービスほたる阿久比」を運営している。定員10名の小規模事業所として運営を開始したが、介護保険制度変更に対応するため、平成28年度より定員19名へ増加し運営を行っている。有料老人ホームに「お泊りデイ」用の部屋（有料老人ホーム並の安全管理がある施設に低価格で宿泊できる）を併設するなど親族の方々が安心して預けられる地元密着の経営を行っている。また、一般社団法人福祉評価推進事業団が主催した「あいち介護サービス大賞」を受賞し、介護サービスの先進的な取り組み事例として紹介された実績がある。

この介護サービスは、ナースコール、居室見守り、スタッフ間の情報共有を一体的に運用できるシステムであり、「平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」

を活用し導入した。従来、介護施設のワークフローは「コールが鳴る→駆けつける」となっていたが、システム導入により「入居者の行動を確認する→駆けつける」へワークフローを変革した。この変革により、いち早く状況を把握し的確で迅速な対応が可能となり、より安心を届けることのできる施設となった。

ICTを最大限に活用し、スタッフの効率的な配置へ

今回のICT(情報通信技術)による安心・安全な見守りシステムの導入により、安心を届けるとともにスタッフの効率的な配置にも成功した。従来であればコールが鳴った場合、必ず駆けつけなければならなかったが、このシステムでは入居者からのコールがあった際、各職員の持っているモバイル端末へ連絡が入り、それを受けた職員が室内に

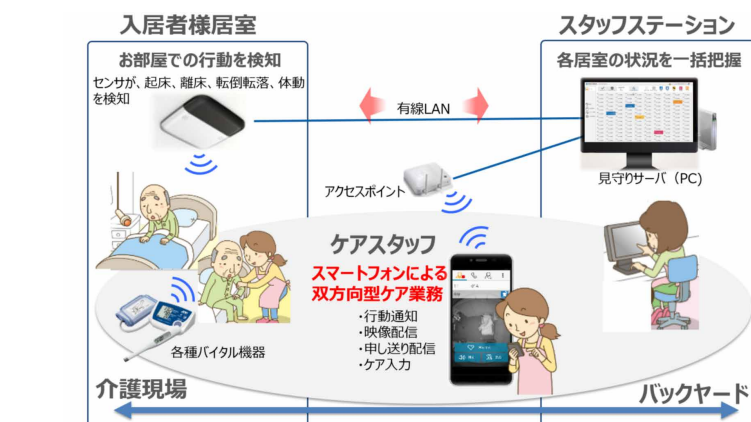
設置されているカメラの映像を確認し、必要があれば現場へ向かうというフローとなった。このフローの変更により、介助を必要としない行動をしている入居者へは映像を確認するのみで対応ができるようになり、職員の作業時間が削減された。また、2人以上の職員が重複して現場に向かうといった非効率的な体制が解消し業務の効率化が図られたほか、サポートが必要な入居者に向け多くの時間を使えるようになり、より一層サービスの充実が図られた。

その結果、顧客満足度が高まり継続的に利用する入居者の増加に繋がった。また、高齢者に何らかの問題が発生しないか夜間も定期的に巡回する必要があるが、緊急事態が発生した場合、定期的な巡回では手当などの対応が遅れるケースも想定されるほか、巡回頻度を増やした場合、職員の負担が大きく高齢者の安眠妨害にもなっていた。これらの課題についても見守りシステム

の映像機能で対応することにより、作業量の軽減とサービスの向上に繋がった。

新施設の開設へ

今回のシステム導入により、地域では相応の知名度と認知度を獲得し、安定した入居者の獲得に繋がり満床状態が続いている。また、当地区においては高齢化が進み、より多くの介護施設が必要となっていくものと見られる。更に働きやすさを追求したことで、職場への不満から離職する者が抑えられている。こうした中で、入居ニーズを取り込み、雇用の受け皿にもなる新施設の開設に向けて具体的な準備に取り組んでいる。今後も地域に根付いたオンリーワンの介護施設を目指して、地域と職員の声に耳を傾け、「安心・安全」「暮らしやすさ」を提供し、高齢者を支える仕組みを築いていく。



システム導入による連携